

| 議 長 | 副議長 | 局 長 | 次 長 | 係 長 | 係 | 合 議 |
|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|
| | | | | | | |

このとおり作成しましたので報告します。

総 務 文 教 委 員 会

開 催 日：平成27年8月31日(月)

開催時間：14時15分～14時35分

開催場所：第4委員会室

(委員) 佐々木委員長、岡本副委員長

岡野委員、小川委員、森谷委員、野藤委員、上野委員、江角委員

(執行部) 植田総務部長、砂川地域政策部長、埴財務部長、山本教育部長、河上消防長

前木総務部次長、宇津地域政策部次長、河野財務部次長、横田教育部次長

藤井消防本部次長、河内総務管理係長

(事務局) 篠原書記

【議 題】

1 所管事務調査事項について

(1) 次期総合振興計画について

2 9月8日(火)の委員会審査日程等について

3 その他

(1) 要望第12号 市内県立高校魅力化支援への取り組みについて」(要望書のため配布のみ)

【詳細は別紙会議録のとおり】

◎ 平成27年9月定例会 総務文教委員会審査について

◆日時：平成27年9月8日(火)10:00～ 場所：全員協議会室

【予定議題】

- 1 同意第6号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 2 同意第7号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 3 同意第8号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 4 同意第9号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 5 同意第10号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 6 議案第67号 浜田市個人情報保護条例の一部を改正する条例について
- 7 議案第68号 浜田市職員定数条例の一部を改正する条例について
- 8 議案第69号 浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について
- 9 議案第71号 浜田市立小中学校条例の一部を改正する条例について
- 10 議案第76号 浜田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について
- 11 議案第77号 財産の取得について(高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材)
- 12 議案第78号 財産の取得について(消防ポンプ車)
- 13 議案第82号 浜田市過疎地域自立促進計画の変更について
- 14 議案第83号 美又辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
- 15 議案第84号 弥畝辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- 16 議案第85号 市町村建設計画(新市まちづくり計画)の変更について
- 17 執行部からの報告事項
- 18 所管事務調査について
- 19 発議第 号 意見書について
- 20 陳情審査
- 21 その他

【会議録】

[14 時 15 分 開議]

佐々木委員長 ただいまから、総務文教委員会を開会する。出席議員は8名で、全員なので直ちに会議に入る。順次レジュメに沿って進める。

1 所管事務調査事項について

佐々木委員長 まず議題1について。9月8日に開催する委員会の所管事務について、皆から要望等があれば申し出て欲しい。なお、ここで先ほど話があったとおり、次期総合振興計画の所管部分について、基本構想あるいは部門別の中身についてはここで説明があると伺っている。質疑については、地域政策部長。

地域政策部長 先ほどご説明したように、部門別計画は前回意見交換会と審議会の意見を受けて修正中である。総合戦略についても最終調整をかけている。今週の出来るだけ早い段階で、部門別に修正したものと総合戦略、今日お配りしていないが、それは事前にお配りして来週の総務文教委員会では簡単に説明し、委員の皆さんの所管部分を中心にご質問やご意見をいただきたい。他の常任委員会にも同様をお願いをする予定。

佐々木委員長 はい。他の所で委員から何かあれば。岡野委員。

岡野委員 先日、学力調査結果が新聞等に発表された。島根県の小学校が43位、中学校が33位と、かなり順位を下げていた。中でも、塾の先生に聞いた情報なので全く正確かどうか分からないが、県内では浜田江津地区が最も状況が悪いと聞いた。浜田地区においてどのような実態だったのか。学校別に数値を出さない方針らしいが、せめて市全体でどのような成績だったかを出していただきたいのだが。併せて高校進学についても、かなり進学実績が良くなく、成績や模擬テスト等も悪く、県外に生徒が出ていくという状況も最近は顕著である。地域の学力が下がっているということは、地域の魅力が下がるということでもある。実態の数値を次の委員会までに出していただければと思う。

佐々木委員長 今言われた学力調査の結果実態と、県外に出ていく……。

岡野委員 それは二つ別件なのだが。生徒の定着率が悪いというのも一つの数字だと思う。この前ちらっと数字が出たのを見た記憶があるのだが。そういうのが分かれば。

佐々木委員長 定着率と学力調査の実態ということで。

教育部長 国の学力調査の結果が先週に出た。その結果をこのたびの議会で報告しようと思っている。委員会と全協で報告しようと思っている。それから、高校進学の実態だが、これは今年3月時点でどこの学校に進学したかの数値で良いだろうか。

岡野委員 ええ。以前出たと思う。

佐々木委員長 岡野委員。

岡野委員 あれは中学校ごとにどこに……何とか高校に行きましたというのではなかったと思う。県外は県外の表示だったような。松江でも良いが。いわゆるこのエリア外かどうかという。数値として見づらかった覚えがあった。

教育部長 市外の高校への進学先が分かるものでよろしいか。

| | |
|------------------------|--|
| 岡野委員 佐々木委員長 | 分かれればベストだが。 はい、岡野委員から高校進学定着率について案が出たが、委員の皆さんはそれを提示していただくことはよろしいか。 (「はい」という声あり) |
| 総務部長 | では、一応出せるということで良いか。総務部長。 学力調査については、今回の報告事項の中で「学力調査・状況等について」ということを報告事項に入れているので、その中でご質問があったことを併せて説明させてもらうということで。 |
| 岡野委員 総務部長 佐々木委員長 | よろしく願います。 高校進学については所管事務の方で上げるということで。 はい、そういうことで皆さんよろしく願います。他に。 (「なし」という声あり) |
| 佐々木委員長 | では次の議題に移る。 |

2 9月8日(火)の委員会審査日程等について

| | |
|----------------------------------|--|
| 佐々木委員長 | 議題2について。いつもどおり全員協議会室で10時から行う。今回も議案が多く、市長提出議案が16件、そのうち議案が11件で同意案件が5件となっている。それから先ほど陳情付託の審査も3件ある。それからもう一つ、お手元に配ってあると思うが意見書の、これは議運を通してということで出てくるようで、議運で決済して総務文教に付託される流れになるだろうと思う。こういった意見書も今後出てくる可能性があるので、当日の審査に加わってくるのではないかと思う。 これまでどおり市長提出議案については、同意案件5件を先に審査し、残りの議案をその後に審査していきたい。最後に陳情、意見書が出れば意見書という流れで進めていく。 今回、陳情審査が3件あるが、内容等について参考人の方をお呼びするかどうかをお諮りしたい。 受付番号6番「ふるさとドキュメンタリー映画作成に関する陳情」、これが27年6月19日に出ている。これは執行部の答弁も付いているのか。 (「付いてない」という声あり) 執行部にも同様の内容で出ており、執行部は請願者に対して既に答弁をお渡ししているとのことだね。 (「どこから出たの」という声あり) |
| 佐々木委員長 | 教育総務課。有福小学校の映画の撮影みたいな話だったかと思う。一応教育委員会の方で答えを出されているので、参考までに皆さんにお配りしたい。教育委員会の答えは一応、現行制度で対応していただければといった内容だったと思う。間違いないか。 |
| 教育部長 佐々木委員長 野藤委員 佐々木委員長 | はい。 ということなのだが、いかがか。 すみません、現行制度で対応していただくとは、どういう意味か。 本当は回答書を付けてもらうのが一番ありがたかったのだが、例えば市の助成で「浜田市市民協働活性化支援自助補助金」、3分の1で上限30万という制度とか、この映画の上映で石央文化ホールの公共施設を借りる場合には使用料の減免等もある、といった内容の現行制度。 |
| 岡本副委員長 | 実際に市がそう答えているのだろう。 |

佐々木委員長
岡本副委員長
佐々木委員長
岡本副委員長
佐々木委員長
教育総務課長
岡本副委員長

うん。

受けた我々はそれをどう審査するの。

それはそれでやっているが、我々は我々で新たな見解をとということ。

市の見解はまだ当事者には答えてないのか。

答えているのだろう。

いえもう答えている。7月24日付で。

答えているんだったら後は我々も陳情者に来ていただいて、議会は議会としてどう考えるかということを決めていくべきだ。

佐々木委員長

岡本副委員長から、議会は議会で改めてするべきではないかという意見が出たが、いかがか。野藤委員

野藤委員

現行制度でと言われて3分の1で、上限30万。上映会場に関しては減免があるという話だが、これをこのようにするために陳情者がどういう形にしたいというように、いくらかかるのかとか、どれくらいのものかが見えない。それでこの陳情をどうするかと言われても分からない部分が多いのだが。

佐々木委員長
江角委員

江角委員。

その審査ではなく、分からないから参考人を呼ぶか呼ばないかという話をしている。分からなければ呼ぼうかどうしようかというのを諮ってもらえば。

野藤委員

分かった。

佐々木委員長

では、参考人を呼んで詳しく聞きたいという意見があった。議会側の対応として、改めて参考人から詳しく聞かせていただくということで。

野藤委員

その時に、ある程度資料的な物を参考人の方から出していただけると分かりやすい。

佐々木委員長
篠原書記
佐々木委員長

出来る限りの物を、揃えられるなら。何かあるか。

参考人にとという意味か。

そうだ。それはある意味当然だと思う。そのために呼ぶのだから。もちろん発言も詳しくしてもらおうが。ではお呼びするという事で決めさせていただきます。

続いて8番「言葉やコミュニケーションの指導が必要な子どもたちに関する陳情」。これは松原小学校内にある通級指導教室「ことばを育てる親の会」の方からの陳情である。これについてはどうするか。これも詳しく項目ごとに書いてはあるが。岡本副委員長。

岡本副委員長

ご都合がどうか分からないが、もしあれだったら来ていただきご説明いただければお願いしたい。

佐々木委員長

毎年同じような内容を出しておられるようで。特に今回変わった部分もないようである。しかし来てもらうなら旅費を出すことになる。呼ぶか。

(「はい」という声あり)

佐々木委員長

はい。これもお呼びするという提案があった。その方向でよろしいか。

(「はい」という声あり)

佐々木委員長

ではこれも呼んで話をしてもらおうと。

もう一つ、10番「人種差別を先導するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める陳情」。在日本大韓民国民団島根県地方本部の団長、金さんから出ている。いかがするか。これは分かりやすい内容とい

小川委員 うか。小川委員。
この団長さんは浜田の方のようだ。なので来られれば来て話をされても……実態としてはあまり、県の西部の方はあまりないみたいだが、出雲や松江では、在特会という所を中心としてかなりヘイトスピーチが大掛かりにやられていることもある。なかなかこちらには分かり難い部分もあるが、その辺りについては、これも来られれば……。

佐々木委員長
小川委員 そういった実態もいくつか。
先日また、ヘイトスピーチ反対の勉強会があり、人権センターの所長さんが参加されていたと思うので、多分この団体からも色々話をされているのではないかと思う。

佐々木委員長
野藤委員 野藤委員。
東部の方が多いいというのは、竹島の関係で多いということか。
小川委員 いや……。聞いた話では、あちらは朝鮮学校があるので、その生徒に照準を合わせているという話。

野藤委員 分かった。
佐々木委員長 一応事務局側から言われているが、お呼びするのに報酬もかかるということを一応承知した上での判断をしていただきたい。
(「報酬ではなく費用弁償では」という声あり)
(「費用弁償はどれくらいか。」との声あり)

篠原書記 報酬だ。6,000円。
佐々木委員長 一応そういうことで。それではこのヘイトスピーチの件についてもお呼びするというのでよろしいか。
(「はい」という声あり)

佐々木委員長 はい、この3つの陳情については参考人を招致するというので決した。

3 その他

(1) 要望第12号 **市内県立高校魅力化支援への取り組みについて**

佐々木委員長 それでは、その他について。ここに書いてあるとおり要望が、第12号「市内県立高校魅力化支援への取り組みについて」ということで出ている。これは要望書のため配布のみなので、ご確認をお願いする。
以上で用意した議案は終わるが、他に何かあれば。
(「なし」という声あり)
執行部からあるか。
(「ありません」という声あり)

佐々木委員長 はい、では以上で総務文教委員会を終了する。

[14 時 35 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに総務文教委員会会記録を作成する。

浜田市議会総務文教委員長 佐々木 豊 治